

## 小林京子

こばやし・きょうこ  
社会保険労務士法人  
ケース・インテリジェンス 代表社員

1964年生まれ。大学卒業後、大手外資チェーンに入社し、社会保険労務士の資格を取得。人事労務管理・採用・人事・その他多岐に業務に従事。98年社会保険労務士として独立開業。2004年ケース・インテリジェンス設立。10年社会保険労務士法人ケース・インテリジェンス設立。人事労務に関するセミナー講師としても高い人気を誇る。



**西野裕菜・ブレインマークス  
ビジネスコンサルティング**  
1998年に個人事務所として創業し、その後、2010年に法人化をはたしたそうだが、社会保険労務士の資格を取得し、独立するまでにはどのような経緯があったのでしょうか。  
小林京子・ケース・インテリジ

### 10年後をリードする 未来企業 104

## 「感謝されることの喜び」を胸に パワハラ対策や人事評価制度の構築などに注力!!

東京都西東京市を拠点に約100社のクライアントを抱える社会保険労務士法人ケース・インテリジェンス。小林京子代表によると、創業以来、人事労務管理や就業規則の策定といったサービスだけでなく、研修・セミナー業務にも力を入れてきたという。そして、今も「創業時の思いを大切にしつづけてながら、あらたなサービスの提供に取り組んでいる」そうだ。そんな小林代表の夢と想いに、胸ブレインマークスの西野裕菜氏がアプローチした。



社内勉強会の様子

エンス代表社員 私はもともと大手外資チェーンの人事課で働いていたのですが、その際に自身のスキルアップのために社会保険労務士の資格にチャレンジしてみました。フルタイムで働きながら勉強するのは大変でしたが、苦心の末に何とか合格することができました。おかげでその後、会社では人事労務関係の研修業務を担当させてもらえるようになり、講師なども務めるように。すると、しだいに講師を務めること自体が楽しくなり、いずれは独立してより多くの人のために前線で研修・セミナーを行いたいと思うようになっていったのです。  
西野 講師の魅力はどういったあたりにありますか。  
小林 講演する多くの人たちの熱意をダイレクトに受け取れるところですね。そのため、研修後のアンケートで感謝の言葉をい



オフィス風景

く「そう思った思いはなく、より持続的にクライアントを支えたい」という思いで踏み切りました。もちろん、それと同時に組織づくりに力を入れ、職員やパートの皆さんがより積極的に業務に携われるような環境づくりに目指したのです。  
西野 小林さんの研修・セミナーは今も大人気だそうですね。どのような内容のものを得意としているのでしょうか。  
小林 創業時から一貫して、サービス業などを対象にした管理職向けの研修や労務管理関連のセミナーが好評で、法律用語をわかりやすく解説するよう心がけています。また、助成金に関するアドバイスや申請のお手伝いもしていますが、こちらはコロナ禍にあつてますます需要が拡大しています。

西野 研修・セミナーに関して、小林 法人化というも業務拡大のためと思われがちですが、と  
小林 自分ひとりで仕事を抱え込んでしまうケースがあったので、職員やパートさんをお招きして、仕事の仕方を変えたりすること、少しずつ組織の体制を整えていきました。

西野 法人化もさういった組織づくりの一環だったのでしょうか。  
小林 法人化というも業務拡大のためと思われがちですが、と

経営者や経営幹部からはどのような要望が来ていますか。  
小林 たしかには、最近だとパワハラメント（嫌がらせなどの迷惑行為）に関する研修・セミナーを行ってほしいという依頼も多くなっています。おそらく今年4月から「パワハラ防止法」(改正労働施策総合推進法)の順守義務が中小企業にも広がるからではないでしょうか。とくに労働管理を担当する管理職の方たちにとってはその対応が急務になっていきます。私たちもそれに応え、パワハラに関する正しい知識と対策、社内でのコミュニケーションの仕方などをお伝えするコースを用意しています。  
西野 コロナ禍ということもあって、対面での研修・セミナーが難しい面もあるのではないのでしょうか。

たいたいときには、これまでにない喜びを感じました。そのとき思いは現在も仕事のモチベーションになっていきます。  
西野 とはいえ、個人事務所を立ち上げて、一からクライアントを開拓するのは大変だったのではないですか。  
小林 前職の上司や先輩たちの後押しのおかげで、クライアントは着実に増えていきました。また、当時はITベンチャーチームだったこともあり、起業家向けの助成金も多く、その申請サポート業務も収入の柱になりました。ただ、あまりにも働きすぎたせいで、独立からわずか2年で体調を崩してしまい、それからも仕事に忙殺されるたびに体調が悪化するといった負のスパイラルに陥ってしまいました。

西野 その状況をどのようにし

小林 働き方改革の流れもあり、人事評価制度に関する相談が増えていきます。パワハラ対策と人事評価制度の構築は、これから多くの企業にとって重要なテーマになるはずなので、引きつづき力を入れていきたいですね。西野 最後は今後の方針についてお聞かせください。

小林 そういいう場合はインターネットなどを活用したリモートセミナーを提案しています。西野 そのほか、最近ではどのようなニーズが顕著になっていますか。  
小林 働き方改革の流れもあり、人事評価制度に関する相談が増えていきます。パワハラ対策と人事評価制度の構築は、これから多くの企業にとって重要なテーマになるはずなので、引きつづき力を入れていきたいですね。西野 最後は今後の方針についてお聞かせください。



## 西野裕菜

にし の ゆ な

株式会社ブレインマークス ビジネスコンサルティング

2018年にブレインマークス入社。社員サービス運用やCRMシステムの運用・改善、企業文化づくりなど多岐にわたる業務を担当。物怖じしないチャレンジ精神とよき働き手としての姿勢に、顧客との関係構築に専事。現在はニーズを最先端で受け取る業務内容を主とし、サービス業務改善、満足度向上に力を注いでいる。

### 10年後のためのアドバイス!

社会保険労務士資格の取得前後は、大手外資チェーンの人事課で働いていたという小林代表。独立してからかなりの時間が経っていますが、今も初心を大切にしており、インタビュー時にも会社員時代に担当した研修業務の楽しさや感謝状をもらったときの喜びについて笑顔で語ってくれました。ただ一方で、社会保険労務士には時代を先読みし、あらたなサービスを提供していくことが求められます。今後はパワハラ対策や人事評価制度の構築だけでなく、健康保険法や育児・介護休業法の改正にとりも対応なども求められるようになると思うので、柔軟かつスピーディにこうしたニーズにも応えてほしいと思います。